

日本 HTLV-1 学会
2017 年度事業報告書
(2017 年 7 月 1 日～2018 年 6 月 30 日)

庶務報告

会 員	一般会員	218 名 (昨年度 216 名)
	学生会員	20 名 (昨年度 20 名)
	賛助会員	9 社 (昨年度 10 社)
	名誉会員	9 名 (昨年度 9 名)
	功労会員	5 名
	(2018 年 6 月 30 日現在)	
役 員	理事	20 名
	監事	2 名
評議員		49 名
各種委員会委員	総務委員	8 名 (昨年度 9 名)
	財務委員	6 名
	診療委員	8 名 (昨年度 9 名)
	倫理利益相反委員	4 名 (内、外部委員 1 名)
	学術広報委員	9 名

会 議

1. 理事会

第 1 回理事会

日 時：2017 年 8 月 18 日(金)14 時 30 分～15 時

場 所：関西医科大学 学舎 3 階学生食堂

第 2 回理事会

日 時：2017 年 8 月 19 日(土) 12 時 15 分～12 時 30 分

場 所：関西医科大学 学舎 1 階加多乃講堂

臨時理事会 (メール審議)

- ・2018 年 3 月 14 日 (水) 学会の賞 (若手研究者奨励賞、宇都宮賞) 授賞に関する制度整備について
- ・2018 年 3 月 29 日 (木) 「日本 HTLV-1 学会登録医療施設」の認定のための WG 設置と先行 6 施設の認定について
- ・2018 年 4 月 5 日 (木) IRVA Tokyo Conference 2018 & International Symposium (国際レトロウイルス学会東京会議 2018 および国際シンポジウム) 共催について
- ・2018 年 5 月 29 日 (火) 学会事務局非常勤職員の雇用 (6 月～9 月) について
- ・2018 年 5 月 29 日 (火) 「HTLV-1 の日」 (HTLV-1 Day) の設置について

2. 定時社員総会

日 時：2017年8月19日(土)11時50分～12時10分

場 所：関西医科大学 学舎1階加多乃講堂

3. 総務委員会・診療委員会・財務委員会・学術広報委員会・倫理利益相反委員会

日 時：2017年8月18日(金)13時～14時30分

場 所：関西医科大学 学舎3階学生食堂

事業報告

第4回日本 HTLV-1 学会学術集会

－HTLV-1 関連疾患の発症予防に向けた挑戦－

日 時：2017年8月18日(金)～8月20日(日)

場 所：関西医科大学(大阪府枚方市新町2-5-1)

会 長：藤澤 順一(関西医科大学 微生物学講座 教授)

参加者数：238名(事前/当日登録者)

口演発表：43件

ポスター発表：44件

別途、無料公開シンポジウムのみ参加者数：98名

学術シンポジウム －HTLV-1 関連疾患発症における NF-κB の役割－

1) 井上 純一郎(東京大学医科学研究所)「HTLV-1 Tax による NF-κB 活性化機構」

2) 山岡 昇司(東京医科歯科大学)「HTLV-1 感染と NF-κB」

3) 森下 和広(宮崎大学医学部)

「HTLV-1/ATL に高発現する CADM1 は p47 欠失に寄る NF-κB 活性化に依存する」

4) 山岸 誠(東京大学大学院)

「HTLV-1 感染によるエピジェネティックな NF-κB 活性化とその意義」

5) 安永 純一郎(京都大学ウイルス・再生医科学研究所)「HTLV-1 がコードする

2つのがん遺伝子 tax と HTLV-1 bZIP factor の相反する機能と役割」

6) 藤井 雅寛(新潟大学医歯学総合研究科)

「Signal transduction of reactive oxygen species in HAM and ATL」

特別講演 －HTLV-1 関連疾患発症予防にむけた挑戦－

1) 渡邊 俊樹(聖マリアンナ医科大学大学院)

「新規治療薬開発とATL発症予防介入へ向けた展望」

2) 松岡 雅雄(熊本大学生命科学研究部)

「ヒトT細胞白血病ウイルス1型感染細胞の特性・体内動態に基づいた治療戦略」

3) 高折 晃史(京都大学医学研究科)

「HTLV-1感染とDNA修復障害：発症予防に向けて」

4) 片岡 圭亮(国立がん研究センター研究所)

「成人T細胞白血病リンパ腫におけるゲノム異常とその臨床的意義」

公開シンポジウム –HTLV-1感染/関連疾患の関西での広がりを考える–

- 1) 日本のHTLV-1キャリアの現状
佐竹 正博（日本赤十字社中央血液研究所）
- 2) HTLV-1感染者疫学調査（JSPFAD）の紹介と大阪での取り組み
高 起良（JR大阪鉄道病院 血液内科）
- 3) ATL治療の進歩
宇都宮 與（公益財団法人慈愛会 今村総合病院）
- 4) HAM治療の現況と今後の展望
竹之内 徳博（関西医科大学微生物学講座）
- 5) ATLの夫と共に生き、そして自身がキャリアとして生きる思い
桑山 正子（HTLV-1キャリア代表 主婦）
- 6) HAM患者の意見発表
古田 進（全国 HAM 患者友の会「アトムの会」 関西支部長）

表 彰

若手研究者奨励賞（Young Investigator Award, YIA）副賞各 5 万円

長谷川大輔（聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター）

「臨床経過とバイオマーカーに基づく HAM の疾患活動性分類基準の提案」

中野伸亮（今村総合病院 血液内科）

「ATL 患者に対する non-TBI-RIC レジメンを用いた臍帯血移植の成績」

松橋一彦（国立感染症研究所血液・安全性研究部）

「成人 T 細胞白血病・リンパ腫における HBZ 活性化- miR-324-3P による

HBZ 発現抑制の崩壊 –」

木暮泰寛（京都大学大学院医学研究科腫瘍生物学講座）

「ATL における PD-L1 3'-UTR 異常とその活性化メカニズムの解明」

宇都宮賞（優れた症例報告に対して） 副賞各 5 万円

平野光人（東京大学医科学研究所先端医療研究センター）

「ATL 患者の同種造血幹細胞移植後に慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチーを
発症した 3 症例の解析」

松崎敏男（鹿児島大学難治ウイルス病態制御研究センター）

「ABL1 チロシンキナーゼ阻害薬を使用した HAM 合併 CML の 1 例」

JSPFAD 検体登録貢献者への表彰（500 検体達成毎に表彰）：賞状とトロフィー

当年度該当者なし

ホームページの維持管理

- ・ニュースレター 1 件発行
- ・新聞記事 1 件掲載
- ・Tokyo Conference 2018 & International Symposium（国際レトロウイルス学会
東京会議 2018 および国際シンポジウム）の掲載
- ・日本 HTLV-1 学会登録医療機関について掲載

その他

- ・2018 年 6 月 20 日 学会員へ「HTLV Day」制定案についてご意見伺い（メール配信）